

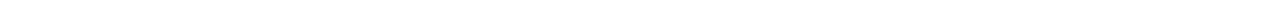
地域連携室便り *Mini*

第144回医療連携懇話会特集号



第144回医療連携懇話会を終えて

画像センター長／地域医療連携室 副室長 井上 武



「県立中央病院をまるごとご紹介します」をテーマに第144回医療連携懇話会・意見交換会を令和7年7月9日（水）19時からANAクラウンプラザホテル松山にて開催いたしました。酷暑及びご多忙の中、院外から98名の方にご参加賜り、院内参加者57名と合わせて計155名の賑やかな懇話会となりました。

愛媛県公営企業管理者 東野政隆の挨拶に引き続いだ、愛媛県立中央病院28診療科の主任部長が前もって作成したスライドを用いて診療科紹介を行いました。診療科も多く、1診療科2分と短い持ち時間でしたが、コンパクトに練りこんで作った内容のスライドで、各診療科の診療内容、特徴、アピールポイントがまとめられており、患者様をご紹介いただく際の参考になるかと考えております。二宮地域医療連携室長の「くれぐれも時間厳守で！」との念押しが功を奏したのか、ほぼ定刻どおりに診療科紹介を終えることができました。

各科の診療科紹介の後、隣の会場に移動して、意見交換会が開かれました。立食形式での意見交換会で、普段はFAXや電話のやり取りでしか接点の無い関係者が、改めてお互いの顔を合わせ、アルコールも入り、皆様と積もる話に時間を忘れるような楽しい会合になりました。

これまで多くの患者様をご紹介いただき、皆様のお陰をもちましてわが愛媛県立中央病院は多くの患者様の診療にあたることができます。重ねて御礼申し上げます。公立病院も厳しい経営環境の中に身を置いているこの頃、これまで以上に当院をよろしくお願ひ申し上げます。

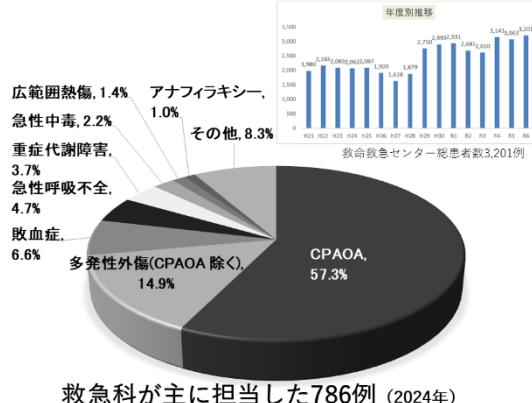
今回発表した28診療科のスライドを、ご紹介したいと思います。今後ご紹介の参考になれば幸いです。

救急科

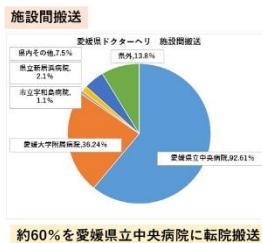
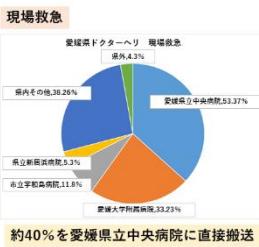
救命救急センター 救急科



- 救急科13名（救急科専門医10名、集中治療専門医5名）
救急科専門研修プログラム指定施設（車両2名）
集中治療専門研修施設（3名研修登録中）
日本航空医療学会認定指定施設
- 救命救急センター 初期診療（三次初療）
- 重症入院患者診療（救命ICU・救命HCU）
- 病院前救急 愛媛県ドクターへり基地病院
ドクターカー、医師同乗救急（松山消防ワークステーション）
- 災害医療（基幹災害拠点病院、原子力災害医療拠点病院）



2024年
愛媛県ドクターへり
要請件数 出動件数
378 件 316 件



麻酔科

スタッフ紹介

常勤 15名

藤谷 太郎（副院長）
中西 和雄（主任）
奥田 康之（“ホー”トヨタ一長）
矢野 雅起（集中治療）
程野 茂樹（災害医療）
武田 泰子（ペイン）
品川 育代（小児麻酔/緩和ケア）
菊池幸太郎（心臓麻酔）
佐々木 知恵
上松 敏吾
高柳 友貴（集中治療）
和田 彰平
足立 良太
吉良 美香（専攻医）
宮内 满里奈（専攻医）

非常勤 7名

高石 和
土手 健太郎
原田 雅光
原田 知美
清水 香里子
鍋田 多恵子
越智 貴紀



診療目標

● 安全な麻酔・周術期管理

→ 2名以上の麻酔科医による麻酔前診察による術前リスク管理

● 術後の早期離床

→ 神経ブロックなどによる多角的鎮痛法を用いた痛みの緩和
→ 術後の嘔気嘔吐対策
→ 術直後から始まる早期回復プログラムの充実

● 重症例の予後改善

→ 院内で治療中に重症化した症例の集中治療

● 難治性の痛みの緩和

→ 院内紹介患者を対象に、神経ブロック療法も含めた、癌性や良性の難治性の痛みの治療
→ 緩和ケアチームへの参加

2024年の麻酔科診療実績

麻酔
麻酔科管理症例数：4989 例
緊急：1085例（約22%）

心臓血管外科 : 530 例
呼吸器外科 : 175 例
脳神経外科 : 220 例
小児（6歳以下） : 222 例
産科（帝王切開） : 286 例

ICU

手術後症例：1891 例
one night入室 1761 例
短時間リカバリー 130 例

ペインクリニック

・院内紹介患者のみ診療
・緩和ケアチームへの参加

産婦人科

産婦人科の紹介

・県内唯一の総合周産期母子医療センターの産科部門として、24時間、365日、緊急搬送に対応しています。夜間休日の超緊急帝王切開においても、新生児内科・麻酔科などとの緊密な連携のもと、15分以内に児を娩出できる体制を整えています。

・婦人科良性腫瘍においては、その多くを腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術で行っており、手術を受ける患者さんの負担の軽減、入院期間の短縮をはかっています。悪性腫瘍に関しては、外来化学療法を積極的に取り入れ、患者のQOLに留意した治療を行っています。

産婦人科スタッフ

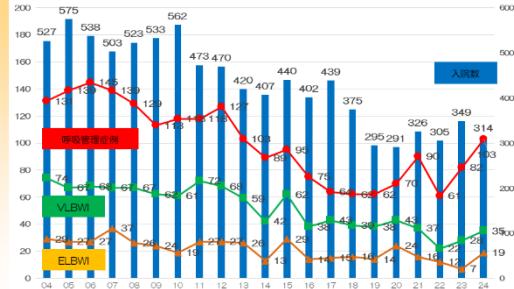


いつもたくさんの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。これからも愛媛県の産婦人科医療の一助になるよう努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

新生児内科

新生児内科の紹介

愛媛県立中央病院 第14回医療統計会合



愛媛県立中央病院 第14回医療統計会合



愛媛県立中央病院 第14回医療統計会合

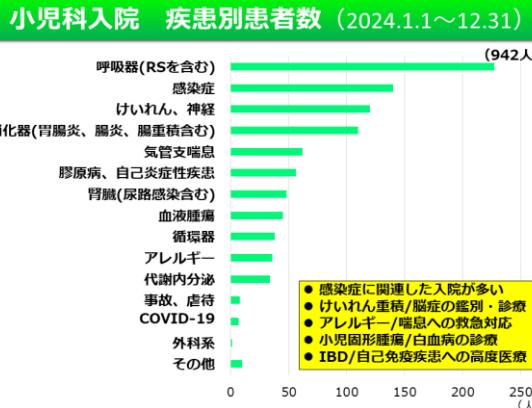


愛媛県立中央病院 新生児内科



小児科

小児外科



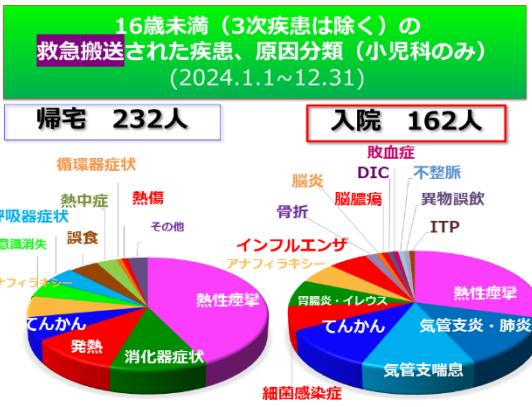
新生児の手術症例 (2024年)

新生児手術	症例数
先天性十二指腸狭窄症根治術	1
先天性小腸閉鎖症根治術	3
小腸瘻造設術	1
腸回転異常症手術	1
人工肛門造設術	3
直腸肛門奇形根治術(会陰式)	1
その他	2
計	12



鏡視下手術症例 (2024年)

鏡視下手術	症例数
腹腔鏡下鼠径ヘルニア(陰嚢水腫)手	60
腹腔鏡下虫垂切除術	8
内視鏡下食道拡張術	1
計	69



その他の手術症例 (2024年)

その他手術	症例数
先天性横隔膜ヘルニア根治術	2
臍ヘルニア根治術	14
メッケル憩室摘出術	1
小腸瘻造設術	1
直腸脱根治術	2
イレウス解除術(開腹)	1
胆道閉鎖症根治術	1
先天性胆道拡張症根治術	1
後腹膜奇形腫摘出術	1
良性腫瘍摘出術	1
精巣固定術	5
長期留置型中心静脈カテーテル挿入・抜去術	4
その他	1
計	35



スタッフ紹介



月	火	水	木	金
外来新患	手術日	田中	近藤	野口
外来再外来		野口	田中	

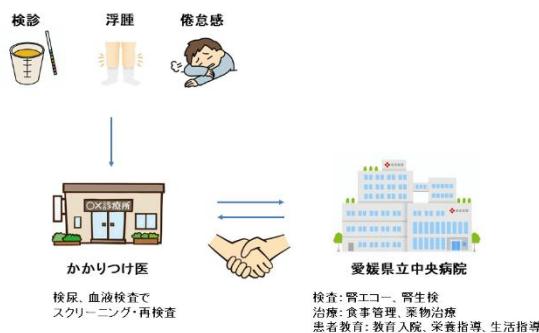
腎臓内科

腎臓内科

診療目標: 末期腎不全への進行抑制
腎臓病患者の生命予後・健康寿命改善

対象疾患: 検尿異常
電解質異常
腎炎・ネフローゼ症候群・腎血管炎
高血圧・腎硬化症・糖尿病性腎症
慢性腎臓病
急性腎障害
常染色体優性多発性のう胞腎
末期腎不全(血液・腹膜透析)

病診連携



腎臓内科メンバー



腎臓内科医: 4名
内科専攻医: 3名

いつも患者様をご紹介ください



泌尿器科

手術統計(2024年)

順位	手術名	症例(例)
1	経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT)	194
2	根治的前立腺摘除術 (RARP)	94
3	内シャント造設術 (AVF)	94
4	前立腺レーザー手術 (HoLEP)	54
5	経尿道的尿管碎石術 (TUL)	46
6	透析用長期留置カテーテル挿入術	36
7	腹腔鏡下仙骨腫瘍固定術 (RASC)	32
8	腎摘除術 (腹腔鏡下15、RARN12、開腹2)	29
9	腎部分切除術 (RAPN)	18
10	腎尿管全摘術 (RANU)	18

1

2025年泌尿器科メンバー



2025年泌尿器科メンバー



本年もどうぞよろしくお願ひいたします！

糖尿病・内分泌内科

糖尿病・内分泌内科

A. スタッフ構成

1. 主任部長: 戎井 理	1988年愛媛大学医学部卒業
2. 部長: 大野敬三	1991年自治医科大学卒業
3. 部長: 宮内省哉	1993年愛媛大学医学部卒業
4. 部長: 明坂和幸	1999年愛媛大学医学部卒業
5. 医師: 岡本全史	2019年愛媛大学医学部卒業
6. 専攻医: 宇都裕士	2022年愛媛大学医学部卒業

B. 外来診察体制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1診察室	戎井	大野	岡本	戎井	大野
2診察室	明坂	宮内	明坂	宮内	岡本

C. 甲状腺エコー

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	○	○	○	○	○
午後					

D. 甲状腺エコーカット細胞診

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後		○	○	○	

当科の役割

1. 体系的な糖尿病教育
2. 糖尿病患者さんの病態に応じた治療法方針の決定
3. 食事療法、運動療法の指導
4. インスリンや血糖自己測定の手技指導
5. 細小血管障害、大血管障害の精査
6. 内分泌疾患の診断と治療
7. 他科入院中の糖尿病患者の血糖コントロール



消化器内科

消化器内科 (愛媛県立中央病院)

2025年度目標

・医療レベルのさらなる向上 地域の医療に貢献！

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるよう診療のレベルアップを目指します。

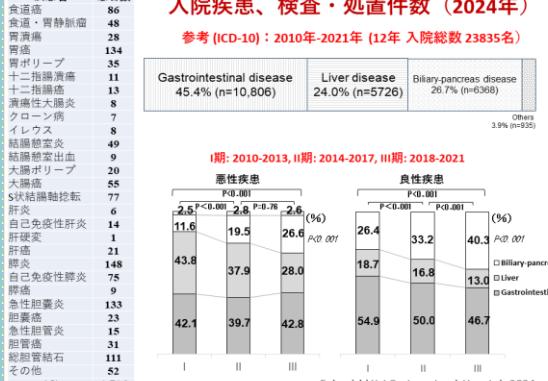
・医療安全の推進 地域の医療に貢献！

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

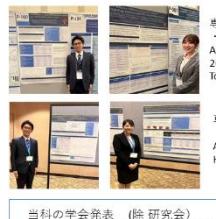
・医学的エビデンスへの貢献 Local but global !

当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて、日常診療へフィードバックを行います。

疾患名 患者数

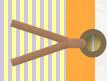


2024年 消化器内科 研究業績



研修医、専攻医の先生方の医師としてのキャリアパスを考えるきっかけになるよう、また、愛媛から世界の医療に貢献できるように学術活動にも力を入れています！

愛媛県中
チーム・消化器内科をよろしく
お願ひいたします。



消化器外科

●上部グループ

【2024年 胃癌食道癌手術実績】

	手術件数	開腹	腹腔鏡	ダヴィンチ
胃癌 88例	幽門側胃切除	65	12	2 53(81.5%)
	噴門側胃切除	11	0	0 11(100%)
	胃全摘	10	4	0 6(60%)

	手術件数	開腹	腹腔鏡	ダヴィンチ
食道亜全摘術	食道癌・接合部癌		10例	
	食道平滑筋腫			1例

➤ 胃癌に対してのロボット支援手術は、当科で2017年より導入し、2018年4月の保険取扱を受け、年々割合が増加し、2024年は約80%の症例でダヴィンチを用いたロボット支援下胃切除を実行しました。

➤ 日本胃癌学会認定施設（A） 2023年～

消化器外科（上部消化管担当）



スタッフ 5名 八木 草彦 佐藤 公一
神崎 雅之 潤尾 美咲 坪井 葵

●下部グループ

手術実績（2024年）下部消化管グループ

	手術件数	開腹	腹腔鏡	ロボット
結腸癌	175	18	117	40 (23%)
直腸癌	94	3	18	73 (78%)
大腸穿孔	43	43	0	
虫垂炎	89	4	85	

➤ 大腸ロボット支援手術は2022年4月の結腸癌への保険適応を受け、結腸癌に対してもロボット支援手術を導入し順調に施行できており、症例数も増加しております。

➤ 直腸癌においては、ロボット手術の割合が、70%を越えています。より精緻な手術により、根治性を損なわない範囲で、機能温存に努め、より低位の直腸癌に対しても永久的人工肛門が回避できるように努めています。

消化器外科下部グループ



スタッフ 9名
吉山広嗣 古手川洋志 発知将規 松野裕介 大島将義
永岡智之 沖川昌平 石村菜穂 中城裕二

●肝胆膵グループ

手術実績(2024年)肝胆膵グループ

	合計	開腹	腹腔鏡下	ロボット
原発性肝癌	57	20	37(65%)	
転移性肝癌	19	5	14(74%)	
肝門部胆管癌	2	2	0	
遠位胆管癌	6	3	0	3(50%)
胆囊癌	13	5	8	
脾癌	33	13	2	18(55%)
脾腫瘍(脾癌を除く)	20	3	1	16(80%)
胆囊結石、胆囊炎	250	4	246(98%)	
脾疾患	1	0	1	

※科全体で対応の緊急胆摘出手術症例含む

➤ 積極的に低侵襲手術を導入 ロボット手術が増加

消化器外科(肝胆膵グループ)



スタッフ 7名
大谷広美(センター長) 渡邊常太 花岡潤
宇都宮健 高田厚史 岩川陽介 烏谷僚

呼吸器内科

呼吸器内科で対応する疾患

- 肺癌、胸膜中皮腫、縦郭腫瘍、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、気管支拡張症、急性呼吸不全、慢性呼吸不全、気胸、胸水、肺炎、肺膿瘍、膿胸、胸膜炎、膠原病関連肺疾患、肺結核(排菌のない場合)、非結核性抗酸菌症、肺真菌症、過敏性肺炎、血管炎関連肺疾患、咯血、気道異物その他
- 現在対応不可: 睡眠時無呼吸症候群

呼吸器内科スタッフ



呼吸器内科2025年度目標

- 愛媛呼吸器診療最後の砦となる診療意識
- 病診連携強化
- コメディカルとの連携強化
- 充分なインフォームドコンセントによる相互理解の向上
- 研修指導の強化
- カンファレンスの充実

感染症内科

感染症内科の仕事

- Microbiology round (液体培養や脳液培養や抗酸菌検査陽性例のチェック)
- 血液培養陽性症例の併診 (20~30症例/月)
- 症例コンサルテーション (20~30症例/月)
- 外来 (梅毒、HIV)
- 2025年4月~妊娠、免疫不全者用のワクチン外来開始 (帯状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチン、RSV)
- レクチャー & 回診 (研修医、薬剤師向け)
- 常勤2名で活動中
- 学生実習 + 初期研修医ローテーション1-2名/月、不定期で後期研修医のローテーション

TABLE 2. Recommended Immunizations for Adults With Cancer

Vaccine	Recommended Age	Schedule
Influenza	All ages	Annually
Varicella	60 years and older	Once
COVID-19	All ages	As per the latest CDC schedule for immunocompromised ¹⁷
Tdap or Td ¹⁸	19 years and older	One dose of Tdap, followed by Td or Tdap booster every 10 years
Hepatitis B	19-59 years: eligible 60 years and older: immunize those with other risk factors ¹⁹	For adults 20 years and older, use high antigen (40 µg) and administer as a three-dose Recombivax/HB series (0, 1, 6 months) or four-dose Engenix-B series (0, 1, 2, 6 months) ²⁰
Recombinant zoster vaccine	19 years and older	Two doses at least 4 weeks apart
Pneumococcal vaccine	19 years and older	One dose PCV15 followed by PPSV23 8 weeks later Or One dose PCV20 ²¹
HPV	19-26 years: eligible 27-45 years: shared decision making	Three doses, 0, 1-2, 6 months

がん患者には化学療法開始前に様々なワクチン接種が推奨されている
⇒肺炎球菌 (PCV20)、帯状疱疹ワクチンを中心に行なう

Fertility Preservation in People With Cancer: ASCO Guideline Update

Table 1

COVID-19爆発中の分娩形式による医療従事者の感染率についての
南北共同調査研究

南北共同調査研究	
調査対象: 医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	
分娩形式	自然分娩
剖腹産	2
助産師	13
助産士	10
合計	27
医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	42
分娩形式	自然分娩
剖腹産	364
助産師	35
助産士	69
合計	390
医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	506
分娩形式	自然分娩
剖腹産	36
助産師	6
助産士	30
合計	50
医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	556
分娩形式	自然分娩
剖腹産	390
助産師	35
助産士	69
合計	454
医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	1010
分娩形式	自然分娩
剖腹産	390
助産師	35
助産士	69
合計	454
医療従事者(准看護師、看護師、助産師、助産士)	1010
分娩形式	自然分娩
剖腹産	390
助産師	35
助産士	69
合計	454

Table 1 Number and type of deliveries, and characteristics of the healthcare workers in the maternity ward.

Hospital A Hospital B

Hospital	A	B
Delivery (n)	17	30
Vaginal (n)	2	20
Healthcare worker (n)	13	10
Age (years) median (IQR)	36.8 (30.0-43.0)	35.7 (29.7-42.7)
Delivery (n)	36	50
Healthcare worker (n)	36	50
Incidence of COVID-19 within 10 days (n)	0	0

Table 2 Unadjusted and adjusted associations of developing COVID-19 among healthcare workers.

Outcomes and strata	Hospital A	Hospital B	Unadjusted OR (95% CI)	Adjusted OR (95% CI)	p value	p value
Cases of COVID-19	4/62 (6.5%)	13/60 (21.7%)	3.86 (1.00-14.2)	6.00 (1.01-11.9)	0.0001	0.0001
OR, odds ratio; CI, confidence interval.						
Unadjusted OR calculated using Fisher's exact test.						
Adjusted OR calculated using Mantel-Haenszel test, using the type of delivery and number of healthcare workers, age, and race as covariates.						

・国内ではコロナ5類移行前まで陽性妊娠に対して帝王切開が行われていた

・当院ではN95マスクを着用をした上で基本的に経産分娩

・分娩に関わった職員の2次感染率を比較した多施設観察研究

・経産分娩は職員の2次感染リスクにはならない

<https://doi.org/10.11150/kansenshogakuzasshi.e24006>

呼吸器外科

ロボット 手術指導医 胸腔鏡 安全技術認定医 開胸

呼吸器外科



今後もリンパ節郭清にこだわった
上質の肺癌手術に努めます。
御紹介よろしくお願ひします

血液内科

厚生労働省認定 四国唯一の
造血幹細胞移植推進拠点病院
平成元年～500例以上同種移植

愛媛県立中央病院血液内科



愛媛県でがんばっている 愛媛県立中央病院 血液内科の症例数

・ 2018年～2023年 院内がん登録件数

	県立中央病院
悪性リンパ腫	651
多発性骨髄腫	138
白血病	340
その他	282
合計	1411

「白血病」と「良く分からぬ」場合に御愛顧いただいて
おりますが、**悪性リンパ腫・多発性骨髄腫**の診療にも力を
入れていますので、紹介よろしくお願いします。

新たな治療への取組み CAR-T細胞療法



乳腺・内分泌外科

乳腺・内分泌外科



スタッフ一同です。

このような面々で日々の診療を行っています

乳腺・内分泌外科@医療連携総合会2025/7/9

診療実績

マンモグラフィ検査 2475件（約11件／1診療日）

超音波検査 3048件（約13件／1診療日）



- 毎日、専門医が2診体制で外来をおこなっています
- 紹介いただきたい具体的な患者さん
- 乳房の異常を訴えられる方（しこり、乳首のただれ、血性乳頭分泌）
- 乳癌検診や健康診断で異常を指摘された方
- 触診で甲状腺のしこりを疑う方
- 触診で甲状腺のしこりを疑う方
- 頸部US（頸動脈USなど）で甲状腺に腫瘍を疑う方
- バセドウ病で内服治療中、コントロール不良、内服薬で副作用ある方
- 慢性甲状腺炎で甲状腺腫大が著明になった方
- 骨粗鬆症、尿管結石を繰り返す、採血したら高Ca血症、PTH高値の方
- 一紹介を迷う場合もまずはご紹介ください

乳腺・内分泌外科@医療連携総合会2025/7/9

放射線科

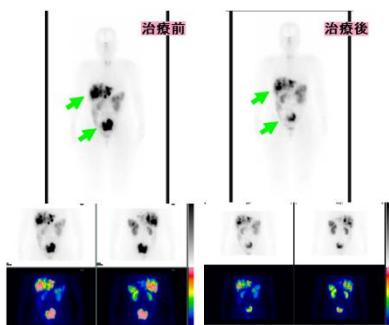
2024年度診療実績 ③

RI(核医学)診断: 694件
(脳血流 123、心筋 140、骨その他 431)

RI治療: 30件 [前年比+21%]

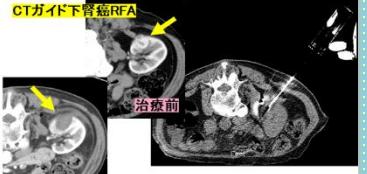


20243～
神経内分泌腫瘍に対するRI内用治療《ルタテラ》



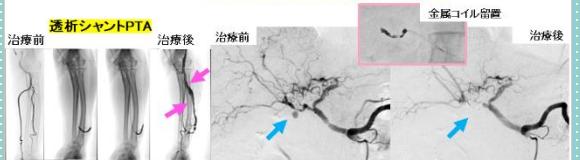
2024年度診療実績 ⑤

IVR



2025.2～

腎癌術後、肝動脈仮性瘤コイル塞栓術



Department of Radiology

放射線科

- 画像診断 Diagnostic Radiology
- 画像下治療 Interventional Radiology (IVR)
- 放射線治療 Radiation Therapy

◆ 多様なモダリティに対応した正確で質の高い画像診断

- X線、CT、MRI、PET-CT、RI(核医学)、マンモグラフィ、消化管造影、等

◆ 患者様のQOLを重視した放射線治療

- 一般照射、定位放射線治療、IMRT、RI治療、等

◆ 血管系・非血管系IVR(インターベンション)は緊急時にも対応

- 腫瘍/血管塞栓・止血、動注、血管拡張・血栓除去、サンブリッジ、生検、ドレナージ、等

豊富な経験と知識に基づき、様々な高度医療機器や技術を駆使して

地域医療を診断・治療の両面から支えます。

ご紹介やご相談等、いつでもお待ちしております。

脳神経内科

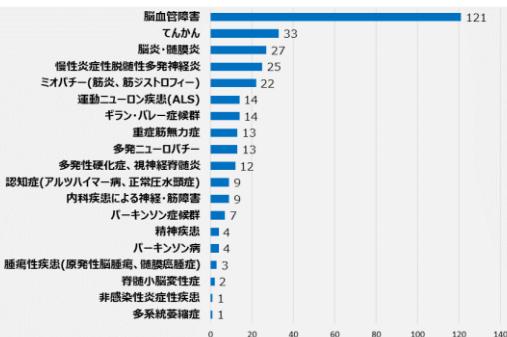
脳神経内科スタッフ



最近の脳神経内科領域の治療の進歩

- 神経免疫疾患 : 多発性硬化症 : 新規病態修飾薬（日本で8種承認）
視神経脊髄炎 : 抗補体 (CS) 脂質/HLI-6R抗体/CD19モノクローナル抗体
重症筋無力症・慢性炎症性脱離性多発神経炎 : (抗体薬/抗IgG受容体/受容体ブロック剤)
- 神経変性疾患 : アルツハイマー型認知症 : 抗A β 抗体（レカネマブ・ドナデマブ）
筋萎縮性側索硬化症 : 大量ビタミンB12（ロゼ/ラミン）筋注
エダラボンの内服治療
抗TDP-43抗体
SOD1 mRNA阻害薬（2023年4月米国で遺伝性ALSに対して承認）
パーキンソン病 : 抗αシヌクレイン抗体 IPS細胞/再生医療
- 遺伝性疾患 : 核酸医薬
Duchenne型筋ジストロフィー/脊髄性筋萎縮症 : アンチセンスオリゴヌクレオチド
- 片頭痛 : CGRP (calcitonin gene-related peptide : カルシトニン遺伝子関連ペプチド) 抗体
選択的 5-HT1F受容体アゴニスト

入院診療実績(2024年)



脳神経外科

脳神経外科 診療分野



新しい動脈瘤治療 -WEB留置術- (2025年~)

- 細かい網目の袋状デバイス
- 開頭せずに治療が完結（低侵襲）
- ステント不要で抗血小板薬の長期使用を回避できる
- 短時間の手術で済むことが多く、入院期間も短縮
- 従来のコイル塞栓では治療困難な症例にも対応可能
- クモ膜下出血にも使用可能



2

循環器内科

循環器内科の3本の矢



第一の矢 救急医療

24時間体制で救命措置の必要な患者さんを受け入れます。



第二の矢 ハートチーム

愛媛県中のエキスパートが協働し、質の高いチーム医療を実践します。



第三の矢 高度医療

先進的な高度循環器医療を県民の皆様に提供します。

臨床で力を入れている7つのこと

- 1.虚血性心疾患 (CHIPインターベンション)
- 2.心房細動などのカテーテルアブレーション
3. ICD、CRTなどのデバイス植え込み、抜去
- 4.弁膜症、SHDインターベンション
- 5.脳梗塞再発予防のためのカテーテル治療
- 6.LEADに対するカテーテル治療
- 7.重症心不全・心原性ショック症例の救命

経皮的左心耳閉鎖術: WATCHMAN FLX



心臓血管外科

診療科紹介

心臓血管外科

【診療方針】

成人心臓および血管(大動脈から末梢血管)すべての外科的疾患に対応する

【特徴】

- ・緊急対応は24時間、365日
- ・開胸・開腹での治療のみならず、低侵襲治療にも注力
- ・ハートチームを形成し他職種とともに治療を行う
<TA-TAVI, MitraClip, PFO closure etc. >

心臓血管外科で扱う疾患

2024年手術総数 385例

・虚血性心疾患 : OPCAB中心

・心臓弁膜症 : 弁形成、TAVI等

・その他の心臓疾患 : 睡瘡、血栓等

・大動脈疾患(胸部、腹部) : ステントによる低侵襲治療

・末梢血管(動脈、静脈) : カテーテル治療中心

スタッフ紹介



石戸谷 浩



米沢 数馬



高橋 研



日野 阿斗務



稻荷 真愛

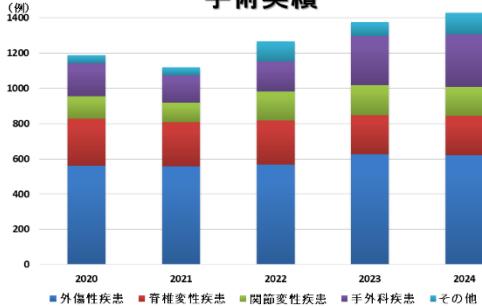


深見 悅二

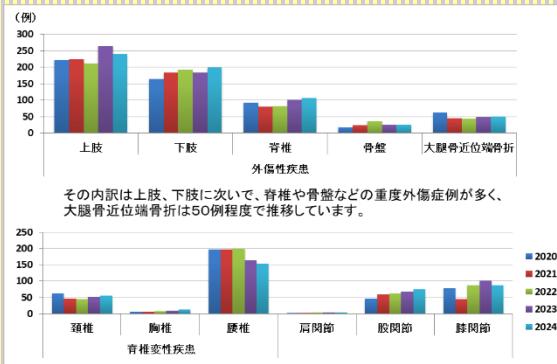
整形外科

整形外科

手術実績



昨年度は手術件数は約1,400例を超えており、その約4割を外傷性疾患が占めています。



整形外科スタッフ一同、専門性の高い医療を提供できるよう頑張っておりますので今後ともよろしくお願いします。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

地域の基幹病院として、そして松山市内唯一の三次救急病院として、患者さんや近隣の医療機関の信頼を得ることができるような医療を目指しています。

年間手術件数は約600件です。

頭頸部がん診療では手術療法、化学療法、放射線治療を適宜組み合わせて、治療の充実に努めています。

当科の主要手術

耳科手術

鼓室形成術、鼓膜形成術、顔面神経減荷術、中耳手術など

鼻科手術

内視鏡下鼻副鼻腔手術(ナビゲーション手術を含む)、鼻中隔矯正術、

鼻副鼻腔腫瘍摘出術など

口腔・咽頭手術

口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、唾石摘出術など

喉頭・気管手術

喉嚨鏡下喉頭微細手術、緊急気管切開手術など

頭部疾患(悪性以外)

頭部腫瘍切除術、耳下腺・甲状腺良性腫瘍手術など

悪性腫瘍手術

鼻副鼻腔、舌、口腔、頬粘膜、咽頭(上、中、下)、喉頭悪性腫瘍の手術

頭部悪性手術など



整形外科スタッフ一同、専門性の高い医療を提供できるよう頑張っておりますので今後ともよろしくお願いします。

眼科

メンバー紹介

	役職	卒業年	出身大学
山口昌彦	主任部長	1990	大阪市大
大熊真一	部長	2008	愛媛大
城戸龍樹	医長	2015	兵庫医大
定成裕子	医長	2018	愛媛大
近藤元史	医師	2020	愛媛大
吉岡恵理子	診療委託	2005	浜松医大

全員
愛大眼科医局所属

眼科担当表 (2025/4/1~)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
外来	山口	大熊	定成	山口	大熊
	近藤	城戸	近藤	城戸	定成
未熟児診察	○	○		○	○
手術	AM/PM		AM/PM	AM	AM/PM

火曜日・月1回
県立南宇和病院へ1人派遣

【専門外来】
網膜硝子体：大熊真一(火/金), 吉岡恵理子(木AM)
緑内障：城戸龍樹(火/木)
白内障：全員対応
角結膜・ドライアイ：山口昌彦(月/木)
ロービジョン：山口昌彦(第2/4木PM予約制)
未熟児網膜症：全員対応

【白内障手術】	
・疾患：白内障	
・入院日数：1-2泊2-3日	片眼→2週間後に反対眼
・麻酔：点眼	
・所要時間：10~40分	(難易度による)
【緑内障手術】	
・疾患：緑内障	
・入院日数：2-3泊3-4日	~1-2週間 (片眼)
・麻酔：テノン囊下麻酔	
・所要時間：30~90分	(難易度による)
【網膜硝子体手術】	
・疾患：糖尿病網膜症、黄斑前膜、黄斑円孔、黄斑浮腫、外傷など	
・入院日数	
・気体を入れない場合：3-4泊4-5日	
・気体を入れ左場合：1-3週間 (重症度による)	
・麻酔：球後注射	
・所要時間：40~180分	(重症度による)

	2024	2023
白内障	794	727
緑内障	106	76
網膜硝子体	219	206
その他	112	98
手術合計	1231	1107
硝子体注射	819	744
レーザー手術	106	109
光線力学療法	6	9

【手術件数】	
・2024年はメインの手術である白内障、緑内障、網膜硝子体の手術が増加し、全体でも1107→1231件 (前年比11.2%増) に増加	

歯科



久野 匡平 (ひののかずひら)	歯科部長
	専門分野：口腔外科・有病者歯科

■久野 匡平 (ひののかずひら)

歯科部長

専門分野：周術期口腔機能管理、有病者歯科

宮本 真志 (みやもとしんじ)	歯科部長
	専門分野：周術期口腔機能管理

■宮本 真志 (みやもとしんじ)

歯科部長

専門分野：周術期口腔機能管理

菅 誠 (かん まこと)	歯科非常勤医師
	専門分野：周術期口腔機能管理

■菅 誠 (かん まこと)

歯科非常勤医師

専門分野：周術期口腔機能管理

診療内容

口腔外科疾患全般

外傷性疾患 (歯槽骨骨折、歯牙外傷)



頸関節疾患

口腔粘膜病変



歯周炎、智歯周囲炎→抜歯



囊胞性疾患 口腔腫瘍→切除、摘出術

睡眠時無呼吸症候群 (口腔内装置)

頸欠損補綴・供食装置下補助装置

有病者に対する一般歯科 (齲歯、歯周病等)



障害者歯科

周術期口腔機能管理 (口腔ケア)



■初診・再診患者数

	2022	2023	2024
初診	2,871	3,223	3,743
再診	10,726	14,555	11,588

■手術および処置件数

手術および処置名	2022	2023	2024
通常抜歯	795	568	622
智歯、埋伏歯	905	697	691
消炎手術(口腔内、外、腐骨除去)	28	25	27
頸骨囊胞、腫瘍	58	52	44
口腔内腫瘍	39	27	18
頸関節症	63	139	161
頸関節脱臼整復術	8	1	8
頸骨骨折、歯槽骨骨折	40	33	34
睡眠時無呼吸症候群	8	7	11
周術期口腔機能管理	1,545	2,093	2,630

形成外科・顎顔面外科

形成外科

先天性、後天性の形態異常や機能異常を 形態的、機能的に修復、再建する外科

- ・新鮮外傷、新鮮熱傷
- ・顎面骨骨折および顎面軟部組織損傷
- ・唇裂・口蓋裂
- ・手、足の先天異常、外傷
- ・その他の先天異常
- ・母斑、血管腫、良性腫瘍
- ・悪性腫瘍およびそれに関連する再建
- ・瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド
- ・褥瘡、難治性潰瘍
- ・美容外科
- ・その他

疾患別入院患者数

疾患名	2021	2022	2023	2024
新鮮熱傷	6	8	9	9
顎面骨骨折	27	35	27	27
顎面軟部組織損傷	3	3	5	6
唇裂口蓋裂	24	26	25	24
手足の先天性異常	6	4	5	5
手足の外傷	18	16	18	20
その他の先天性異常	12	15	10	8
母斑・血管腫・皮膚良性腫瘍	62	65	83	54
悪性腫瘍およびその再建	17	13	16	20
瘢痕・瘢痕拘縮	6	12	11	6
褥瘡・難治性潰瘍	21	34	7	24
その他	31	15	13	8
合計	233	246	229	211

手術数（手術室）

区分	2021	2022	2023	2024
外傷	78	99	93	81
先天異常	86	67	54	56
腫瘍	176	180	222	187
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	20	18	14	22
難治性潰瘍	36	59	40	42
炎症・変性疾患	5	10	9	12
美容	0	0	0	0
その他	15	10	5	2
レーザー	186	126	153	164
合計	602	569	590	566



皮膚科

皮膚科

■ 皮膚に関連するすべての疾患を扱います

- ・診断困難例
- ・重症・難治例
- ・全身症状を伴う症例
- ・手術を要する症例 など

※ 美容や自費診療は行っていません

■ 分子標的薬の使用承認施設に認定されています

- ・アトピー性皮膚炎、乾癬などの炎症性皮膚疾患に
対して生物学的製剤、JAK阻害剤などを多く導入

皮膚科

■ 外来診療

- ・生物学的製剤（注射）：アトピー性皮膚炎 71例、痒疹 28例、慢性尋麻疹 24例、乾癬 51例、壞疽性臍皮症 2例、化膿性汗腺炎 2例
- ・JAK阻害剤（内服）：アトピー性皮膚炎 6例、円形脱毛症 15例、乾癬 10例
- ・紫外線治療
施行件数 1426回/年 対象疾患：痒疹、アトピー性皮膚炎、乾癬など

■ 入院診療

- ・細菌感染症（蜂巣炎、膿瘍など）15例、葉疹・中毒疹 7例、水疱症 7例、手術・悪性腫瘍 7例、円形脱毛症（ステロイドパルス）7例、広範囲熱傷 5例、難治性潰瘍 5例、その他 16例

■ 手術

- ・悪性腫瘍 15例
- ・良性腫瘍 61例

（症例数：2024年度実績）

皮膚科



■ 外来担当医

月	火	水	木	金
松本 真田	松立 松本	定本 真田	松立 松本	定本 松立



総合診療科

2024年度診療実績

入院患者	90人
呼吸器疾患	9
神経疾患	7
消化器疾患	10
腎・泌尿器疾患	14
アレルギー・膠原病	6
感染症	22
循環器疾患	2
糖尿病内分泌代謝疾患	2
血液疾患	4
整形外科・皮膚科	2
耳鼻咽喉科・精神科疾患	2
その他	10

地域医療連携

721人の患者さんを
ご紹介いただきました。

どうもありがとう
ございました

三好 野間 玉木 杉山 大西



今年度からスタッフが増えました！



研修・イベント

第147回 医療連携懇話会

日 時 令和7年11月12日(水) 19:00~20:00

場 所 愛媛県立中央病院 講堂

テーマ 【成人、小児の膠原病】

座 長 副院長・総合診療科 主任部長 玉木みづね

- 演 題
- ①『子どもの膠原病の特徴と愛媛県の実態について』 小児科 主任部長 中野 直子
 - ②『膠原病について』 総合診療科 医師 三好 俊太郎
 - ③『炎症性腸疾患と関節リウマチの生物学的製剤について』 薬剤部 薬剤師 山本 美穂

第148回 医療連携懇話会

令和8年1月14日(水)・講演 19:00~20:00

『IBDについて(潰瘍性大腸炎・クローン病)(仮)』 COMING SOON!



地域医療連携 ネットワークサービス

媛さくらネット



アレルギー情報へのアクセスが
簡単になりました!

お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

リンク先: 愛媛県立中央病院ホームページ



<2025年現在閲覧できる項目>

- ・処方・注射・検体検査・病名・退院時サマリ・画像(放射線、エコー、生理検査)
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート (退院時サマリは2023年4月1日以降の情報となります)

次号のお知らせ 12月号(No.53)は、2025年12月中旬頃刊行の予定です。お楽しみに!

メール登録のご案内

各種ご案内やお知らせをメールで受け取れます。動画視聴のみを希望される医療機関関係者のご登録も受け付けております!

◆方法① ①下記の地域医療連携室のメールアドレスへ、以下を記載し送信してください。

<件名> メール登録(医療機関名) <本文> 医療機関住所、電話番号

<動画視聴のみのご希望の場合> 「限定公開動画のみ」と記載をお願いします

地域医療連携室メールアドレス : c-renkei@eph.pref.ehime.jp



◆方法② ②本用紙でのお申し込み

キーリトリーリー

・愛媛県立中央病院 地域医療連携室に下記の登録をいたします。

<医療機関名> _____

<医療機関住所> _____

<電話番号> _____

<動画視聴のみのご希望の場合> 限定公開動画のみ希望 (チェックをお願いします)

<メールアドレス> _____ @ _____

ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、メール送信の目的にのみ利用させていただきます。